

**第24回自治労東北地連
青年女性夏期交流集会**

日時：2019年6月14日(金)～16日(日)
会場：山形県「天童グランドホテル舞鶴荘」
内容：職種別分設会討論、記念講演 ほか

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

E-mail:chousa@jichiro-fukushima.or.jp

第802号
2019年(平成31年)
3月13日
福島市荒町1-21
自治労福島県本部
発行人志賀一幸



第19回統一自治体選挙

自治労組織内予定候補者



ばんないてつじ
坂内鉄次

喜多方市職労出身
68歳・現在3期目



わたなべくにまさ
渡部訓正

県職連合出身
65歳・現在1期目

■喜多方市議会選挙

4月14日告示、21日投票

■南会津町議会選挙

4月16日告示、21日投票

組織内の必勝に向け全組合員の支援を

自治労県本部に所属する全単組は、連合の掲げる「賃金の上げ幅のみならず、賃金水準を追求する闘争の強化」と「すべての労働者の立場にたった働き方実現への取り組み」を進めるため、連合福島に結集するとともに、自治労県本部重点課題の「賃金の改善」、「職場からの働き方改革と人員確保」、「臨時・非常勤等職員の処遇改善」、「安心してくらし続けられる地域づくり」、「大震災・原発事故からの復興と創生」に組織の総力をあげて取り組んでいく。



参加者全員で2019春闘、参議院選挙闘争勝利にむけて総力をあげて取り組む意思を確認した

はじめに主催者を代表して今野泰連合福島会長は、「好調な企業収益、増え続ける内部留保にもかかわらず、賃金上昇は伸び悩んでいる。企業収益を社会に還元させるための手段として、積極的賃上げ、絶対水準に最後までこだわっていく。また、改正労働基準法による時間外労働の上限規制を最低基準と位置づけ、36協定の締結をはかっていく。」

そして、国民を蔑ろにし、荒唐無稽な政策を繰返す安倍政権から政治を取り戻すため、参議院議員選挙をはじめとする各選挙闘争の勝利にむけて

はじめて主権者を代表して取り組みを進める決意を申し上げる。」と挨拶した。

引き続き、増子輝彦国民民主党福島県連代表、古市三久立憲民主党福島県連代表、紺野長人社会民主党福島県連代表、金子恵美参議院議員から激励の挨拶の後、構成組織からの春闘決意表明として、自治労県本部とJAM南東北福島県連結合同、春闘の具体的取り組み報告と決意を述べた。

続いて、参議院比例区擁立差別代表者決意表明として、自治労県本部の志賀中央執行委員長をはじめ、9産別から、選挙闘争勝利へむけた決意を

集会終了後、街頭デモ行進、クラシノソコアゲ応援団県中央街頭行動を行い、春闘勝利にむけたアピール行動を展開した。

自治労県本部に所属する全単組は、連合の掲げる「賃金の上げ幅のみならず、賃金水準を追求する闘争の強化」と「すべての労働者の立場にたった働き方実現への取り組み」を進めるため、連合福島に結集するとともに、自治労県本部重点課題の「賃金の改善」、「職場からの働き方改革と人員確保」、「臨時・非常勤等職員の処遇改善」、「安心してくらし続けられる地域づくり」、「大震災・原発事故からの復興と創生」に組織の総力をあげて取り組んでいく。

**連合福島
総決起集会**

**2019春闘、参議院選挙闘争勝利
真の働き方改革実現と働く者の代表を国政へ**

3月9日、福島市「マックス北広場」において、連合福島「2019春季生活闘争・参議院選挙闘争勝利福島県中央総決起集会」が開催され、自治労をはじめ55組合1,078名の組合員が結集した。



県本部春闘決意表明をする日野調査部長

当面の日程

- 3月14日(木) 2019春季生活闘争 3.14中央行動 (東京・全電通ホール)
- 3月16日(土) 2019原発のない福島を！県民大集会 (福島市・県教育会館)
- 3月22日(金) 県本部第5回中央執行委員会 (福島市・山房月之瀬)
- 2019年度新旧合同役員会 (福島市・山房月之瀬)
- 3月23日(土) 新旧専従者会議 (福島市・山房月之瀬)
- 4月18日(木) 県本部第6回中央執行委員会、県本部第1回現業・公企闘争委員会 県本部共済推進委員会 (ホテル福島グリーンパレス)
- 県本部第3回単組代表者会議 (ホテル福島グリーンパレス)
- 自治労共済福島県支部単組代表者会議 (ホテル福島グリーンパレス)
- 4月27日(土) 連合福島第90回福島県中央メーデー (福島市)

**先のことなど
わからない...**

「今のことで手一杯、退職後のことなど考えられない」だからこそ、今から始めておきませんか？ 将来のあなた自身へのプレゼント。

在職中は月々1口3000円から掛金を積み立てて退職後の「年金」「医療」「遺族」給付を退職する時に選択

◆お問い合わせ・お申し込みは組合へ

じちろうの長期共済

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部
全日本自治労労働者共済生活協同組合

**職場から取り組もう
全国労働安全衛生集会**

自治労安全衛生集会が2月12、13日、福島市「ホテル福島グリーンパレス」で開催され、全国から多くの仲間が結集した。

基調講演では、川人博過労死弁護団全国連絡会議長から過労死と勤務の因果関係について、「使用者側の認識を高める必要がある。睡眠時間とオン・オフの切り替えが大事。勤務間インターバル11時間の実行されていく。」

福島取り組みを報告する澤田書記長

福島取り組みを報告する澤田書記長は、報告の中で「忙しい業務の実態や働く上でのストレスなど、課題が浮き彫りになった。今後、県本部では引き続き組合員と意見交換の場を作り、事態改善を国や県に求めていく」と訴えた。

2日目は、3つのフォーラムとフィールドワークに分かれ、討論を重ねた。

「メンタルヘルス・ハラスメント対策」では、上田貴子本部顧問弁護士が職場のハラスメント対策について、「自治労の調査によると、過去3年間でパワハラを受けたことのある無で、5人に1人が受けている」と回答。受けた後の状況は、「仕事を辞めたくなった」などの心の変化を示すことや「通院した」「欠勤・休職した」「死にたくなった」など、厳しい指導は仕事への影響を及ぼしている」と指摘した。労使ともに起こる前から対策を進め、防ぎ止めていくことが大事と訴えた。今後、県本部でも、労働安全衛生の取り組みを進めていく。

会計年度任用職員制度導入にむけて

制度構築は今春闘がヤマ場

県本部は、今春闘で「会計年度任用職員制度」導入にむけて、すべての単組が要求し、交渉・協議を行い、自治労本部が示す妥結基準を下回らないように制度の大枠を決めていくことを提起している。

現状は、年度末の繁忙さや当局の対応の遅れにより、交渉・協議が進んでいない単組も見受けられる。2020年4月施行と時間的に余裕がないなか、十分な労使協議の

2020年4月から導入

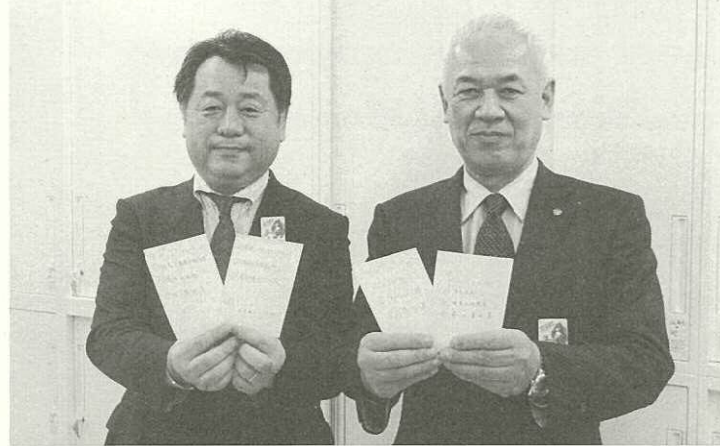
会計年度任用職員制度 Q&A集

2017年5月「地方自治法」施行後、地方自治体は「会計年度任用職員制度」を導入し、2020年4月1日から正式に導入される。導入後、単組の対応はどうか、自治労本部にどのような要望があるのか、などについて、自治労本部がまとめたQ&A集を作成した。この集を参考に、ご活用ください。

自治労福島本部
福島県本部HPからもダウンロードできます

新春お年玉クイズ当選者発表

県本部賞 菊池真由美さん(県職連合本庁支部)
近藤 瑞希さん(鏡石町職労)



抽選をする志賀委員長と澤田書記長

新春お年玉クイズの答え...
ペーパークラフト

- ①自治労福島県本部賞 「旅行券5万円」2本
菊池真由美(県職本庁) 近藤 瑞希(鏡石町職労)
- ②全労済自治労共済賞 「カタログギフト5千円相当」10本
佐藤 良江(県職郡山) 鈴木 喜内(県職北会津) 阿部 尚也(福島市職労) 稲葉 洋貴(大王村職労) 古市 奈緒(矢祭町職) 増子 広行(玉川村職労) 中村 陽子(会津若松市職労) 春日亜沙美(会津坂下町職労) 遠藤 朱美(相馬市職労) 江口 秀則(富岡町職労)
- ③自治労県本部お年玉賞 「クオカード1千円」30本
玉坂 範夫(県職福島)
- 国分 洋一(県職福島) 山内富士男(県職郡山) 吉田 朱美(県職いわき) 五十嵐浩一(県職北会津) 中野 勝授(県職双葉) 高橋 義成(福島市職労) 菅野 広貴(伊達市職労) 吉田 晴奈(二本松市職労) 安田 稔(国見町職労) 富田茉莉子(国保連労組) 一刀まゆみ(川俣協職労) 遠藤 隆(須賀川市職労) 安藤多恵子(須賀川市職労) 関根 一将(白河市職労) 大沼 互(白河市職労) 小沼 潤(天栄村職労) 大野 裕貴(矢吹町職労) 阿部 雅子(会津若松市職労) 齋藤 亮(喜多方市職労) 山内 裕美(喜多方市職労) 齋藤 美香(西会津町職)
- 歌川 志穂(磐梯町職労) 小寺富士子(南会津町職労) 高萩 繁(いわき市職連合) 坂本 夕佳(いわき市職連合) 齋藤ひとみ(南相馬市職労) 山田裕貴子(新地町職労) 遠藤 真希(川内村職労) 佐藤 幸一(双葉水道職労)
- ④東北労働金庫福島県本部賞 「カタログギフト1万円相当」2本
佐久間博幸(福島市職労) 濱須 通子(南相馬市職労)
- ⑤全労済福島推進本部賞 「図書カード5千円」4本
河原絵理子(県職白河) 宍戸由理奈(市町村共済職労) 渡部 圭(只見町職労) 高井 勇生(富岡町職労)
- ※応募総数 678通

「会計年度任用職員制度」導入にむけて、すべての単組が要求し、交渉・協議を行い、自治労本部が示す妥結基準を下回らないように制度の大枠を決めていくことを提起している。

現状は、年度末の繁忙さや当局の対応の遅れにより、交渉・協議が進んでいない単組も見受けられる。2020年4月施行と時間的に余裕がないなか、十分な労使協議の



2月27日 飯館村職労での学習会

共済加入を全単組で推進

若年層向けセミナーパッケージを提起

3月4日、県本部・県共済推進単組代表者会議を福島市「福島グリーンパレス」で開き、新規採用職員の共済加入の推進などの協議事項が確認された。

新規採用職員の共済加入推進については、組合加入と同時に団体生命共済の加入を推進し、「新役員や組合員、当事者である臨時・非常勤等職員」の共済加入を目標に取組む。

若年層組合員の共済加入推進については、県支部として「若年層組合員向けセミナーパッケージ」を設定して取り組むことが確認された。セミナーは、マイカー共済の

制度説明と保障相談の疑似体験をテーマに、外部講師を招き、概ね35歳以下の組合員を対象に20人(30人で5グループ体制)での受講。開催規模は、総支部・ブロック・郡連協単位、もしくは複数単組となる。

昨年12月8日に会津総支部青年女性部で同様のセミナーを開催し、参加者からは「組合員の立場で聞くのと、制度内容を組合員に説明する立場で聞くのは違うと思った」「保険加入を見直す機会になった」との声があり、「単組に持ち帰り、職場での声掛けや加入に



方針提起をする 県支部坂内事務局長

「つながっている」との報告を受けている。

また、共済学習会やセミナー開催に伴う県支部助成金の見直しについても確認され、組合運動と共済推進は「車の両輪」であり、県本部・県支部は、2019年度団体生命共済新規件数900件の目標達成に向け取り組みを願っています。

編集後記

昨年の4月に専従中央執行委員として県本部に着任して、1年になろうとしています。改めて月日の経つ早さを実感したところです。

調査部長を担当させていただき、各種調査・集約やオルグ等の対応など、各単組および関係者の皆様には、ご協力をいただいたことにあらためて感謝を申し上げます。お世話になりました。

4月からは、県南総支部事務局長の任に就くこととなります。

県南総支部の運動前進にむけて、頑張っていきたいと思っておりますので、今後も変わらぬ支援とご協力をお願いいたします。

新規採用者への組合加入教宣物の活用を

「3分でカイセツ社会人START講座」(5種)

労働組合の知識が全くない新規採用者を対象に、複数回、職場を訪問し、新規採用者に直接手渡しすることを想定した教宣物です。配布する際には、リーフレットの空欄に県本部名、単組名を明記して活用します。



「ヘルプカード」

困ったときの相談先としての組合をアピールするカードで、新規採用者、未加入者、既存組合員全てに配布可能な教宣物です。配布する際には、カードの空欄に県本部名、単組名を明記して活用します。



上記2点の教宣物については、各単組で、新規採用者加入対策の強化にも資する学習資料として、自治労で新たに作成しました。積極的にご活用をお願いします。

なお、資料については、データでの提供となります。

ZENROSAI NEWS
5116V089

今こそ備える!! 防災&暮らしの総点検を

火災

地震
台風・竜巻

病気がけが

損害賠償

さまざまなリスクに備えませんか?
まずは組合にご連絡ください。

ご不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治労労働者共済生活協同組合

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいている組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

総合共済
団体生命共済
長期共済
税制適格年金
親子共済
全労済の住みいる共済
マイカー共済